地域密着型サービス運営推進会議 報告書

会議名称： 令和 6年度 第 2 回 運営推進会議

事業所名： 特定施設 わかば

種 類： 地域密着型特定施設入居者生活介護

日時(予定)： 令和6年6月26日(水)

会場(予定)： ケアリゾート庭園 キッズアカデミーつばさ内

出席者(予定)：

区分	人数	区分	人数
利用者代表	0	地域包括支援センター	1
利用者の家族	1	市役所・(消防)職員	1
地域住民の代表	2	その他	1
知見を有する者	0	事業者	4

計 10 名

【議 題】

入居者様について

- ・わかば現在の入居者様は男性8名・女性21名 全 29 名(定員 29 名)、待機者5名
- ・2名が施設での看取りを希望され、逝去されました。
- ・3名の方が入院されましたが、退院され、わかばで生活を続けています。
- ・2名の方がわかばへ入居されました。

活動内容

- ・4月 28 日、3, 4月生まれの入居者様のお誕生日会を行ない皆様でお祝いしました。
- ・5 月 4 日、B&G まで歩き、あわび王国祭りに入居者様と見学に行きました。コロナで、なかなか、お祭りに行けずにいたので、久しぶりにお祭りの雰囲気味わっていただくことが出来てよかったです。今回は見学するだけでしたが、とても喜んでいただくことが出来ました。
- ・5 月 21 日、滝を上る鯉に色を塗って頂き、壁飾りを作って頂きました。完成した物は居室の壁に飾らせていただきました。おやつには鯛焼きと玄米茶を提供しました。皆様、イベントよりおやつに喜ばれていた様子でした。
- 6 月 4 日、梅雨時期ということで、てるてる坊主を 3 工程に分けて作って頂きました。新聞紙を丸める作業、丸めた新聞紙を布で包み輪ゴムと紐で結ぶ作業、てるてる坊主に顔を書く作業に分かれて作成して頂きました。皆様、手が速くたくさんのでてるてる坊主が完成しました。完成したてるてる坊主は、施設内ホールや廊下、居室に飾りました。「これのおかげで梅雨やけど晴れる日が多いんやなあ」という声もありました。おやつには、バウムクーヘンとフィナンシェにホイップをのせて、フルーツを散りばめた物を提供しました。とても喜んでいただけました。
- 6 月14日には、総合訓練を行ないました。5 月に火災通報装置が設置され、初めての火災通

報装置を使った避難訓練でした。非常ベルが鳴り、職員同士で協力しながら、スムーズに避難することが出来ました。終了後には、消防士さんに消火器の使い方について細かく教えて頂きました。その後、水消火器を使用し実践しました。

研修・委員会の開催

5月：業務継続研修、虐待の発生・再発を防止するための委員会

6月：看取り研修、サービスの質の向上に資する研修、感染症対策委員会

今後の予定

7月に七夕の短冊に願い事を書いていただく作業を予定。

8月に7月、8月生まれの入居者様のお誕生日会を予定。

11月17日(日)にケアリゾート庭園敷地内でケアマルシェというマルシェを行ないます。昨年に引き続き、第二回となります。今回は①子供たちに介護の仕事を知ってもらおう②市制20周年、志摩市を元気に！③異文化交流がテーマです。たくさんの人に来ていただけるよう実行委員会で計画を練っています。

研修・委員会の実施予定

・7月：感染症研修、高齢者虐待防止・身体拘束廃止研修、事故発生防止委員会、身体拘束廃止委員会

・8月：従業員資質向上の為の研修、虐待の発生・再発を防止するための委員会

職員情報

・インドネシアからの技能実習生の初級試験が6月19日にありました。筆記試験と実技試験があり、何度も勉強会を重ねて本番に挑みました。とても緊張していましたが、試験後は、ほっとした様子でした。

【運営推進会議による評価】

- ・地域でも認知症の人が多い。施設やデイサービスは恥ずかしくて行きたくないと思っている。(地域住民)⇒認知症サポート交流センターというのがあり、安心見守りメールやQRコードを服に付けて、写真を読み取ると家族にその場の住所がメールでいくというよう機能もあります。(地域包括支援センター)
- ・地域の方との交流がとても良いと思うのでケアマルシェは、すごく良いと思います。(志摩市介護相談支援課様)
- ・行事ごとやアート、食べ物など、とても良いと思いました。ケアマルシェもすごく良いと思います。(地域包括支援センター)

【要望・助言】

事故について事故発生防止委員会でしっかり話し合うことが大事だと思います。
(地域包括支援センター)

【その他意見等】

〈次回開催予定日〉 令和6年8月28日(水曜) 14:00 ~ 14:30

送付先 kaigosogo@city.shima.lg.jp